

～がんばる船高生～ **ATTENTION!**

第49回 全国高校野球選手権福島大会

夏の甲子園の予選となる全国高校野球選手権福島大会に本校野球部が出場しました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止となった大会でしたが、今年度は本校有志生徒の応援のもと、7月11日に2回戦いわき総合高校と試合を行いました。主将としてチームを牽引した桜田洋秋さん（3年滝根中）、副主将の加藤翔馬さん（3年都路中）、応援に参加した生徒を代表して石井翔さん（3年船引中）、渡辺晃太郎さん（3年船引中）に話を聞きました。



— 大会に向けてどんなことを心掛け練習に取り組んでいましたか？

桜田さん コロナ禍の中、大会が開催されるか不安でしたが、たくさんの方々の協力があったので開催だったと思います。そのため、その方たちに感謝をし、日々の練習に取り組んできました。また、昨年度は大会が開催されず、一つ上の先輩方は悔しい思いをしたと思います。その先輩方の思いも受けてプレーしたいと思いました。

— 試合を振り返ってどうでしたか？

加藤さん 直前に何人かの選手がケガをしたこともあり、納得したプレーができず、チームとしての実力を発揮できなかったのが正直悔いが残っています。しかし、応援に来てくれた船高生や保護者の皆様のおかげで、最後までやりきることができました。皆さんの応援は、とても心強かったです。



▲野球部
左から、桜田さん、加藤さん

— 野球応援に参加してどうでしたか？

渡辺さん 実際の試合はテレビで見るのとは違い、選手たちの緊張感や気持ちが直に伝わってきました。今回の応援では声を出すことはできませんでしたが、応援の力で試合に勝ってほしいという思いで、メガホンを叩きました。私だけでなく、周りの人たちからもその気持ちが伝わってきて、応援をしていたみんなの一体感を感じました。私たちの応援が選手の力になったことはとても嬉しく思いますし、「チーム船引」で頑張れたと実感しました。



▲応援参加生徒
左から、渡辺さん、石井さん

石井さん 試合前に選手たちが声を出し、気合いを入れているのを見て、この試合にかける思いを感じました。私たちもその思いを受け、応援を頑張ろうと思いました。得点のチャンスが来たときなど、全員で熱が入った応援ができ、とても盛り上がりました。多くの生徒や保護者と一緒に心を一つにして応援できたことはすごいことだと感じ、とても良い思い出になりました。

◆体験入学

7月30日、中学生の体験入学を実施しました。昨年度に引き続きコロナ禍の中での開催でしたが、多くの中学生と保護者の方に参加していただき、船引高校を知ってもらえる機会となりました。学校説明の他、デュアル実習や船高アクティブリーダー育成プロジェクトの活動などの在校生の体験発表、各コースの授業体験や部活動見学などが行われました。来年度は「チーム船引」の先輩後輩として共に活躍できるようお持ちしています！



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp



福島県立たむら支援学校だより vol.6

学習活動や学校の取り組みから



◀【中学部 水泳教室】

中学部では7月7日・14日の2日間、田村市の滝根B&G海洋センターで水泳教室を行いました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまったため、1年生だけでなく2年生にとっても中学部で初めての水泳教室となりました。

プールの室温と水温は一定に保たれているため、天候を気にせずに思い切り活動することができました。



▶【高等部 作業製品販売会】

7月14日・15日の2日間、初めて船引高校の一角をお借りして作業学習^{*1}の製品販売会を行いました。今回の販売会を通して、船引高校の生徒さんや職員の方々にたくさんお買い求めいただき、製品に関して貴重なご意見もいただけたことができました。今後の製品づくりに生かしたり、製品を販売するための接客マナーなどを振り返ったりする貴重な機会となりました。



※1：作業学習は、製品作りや野菜の栽培、清掃活動など実際の活動を通して、卒業後の社会生活に向けて必要な力を身につける学習です。

地域支援センター研修会

7月30日、たむら支援学校地域支援センター^{*2}特別支援教育研修会を実施しました。

田村市、三春町、郡山市の小学校、中学校、高等学校などの先生方が参加し「自立活動^{*3}の実践事例を共有しよう」というテーマで協議を行いました。その後、茨城大学教育学部教授 新井英靖先生からリモートで「児童生徒の学びを支える自立活動の実践」についてご講演いただきました。



※2：たむら支援学校地域支援センター「ゆめここ」地域の認定こども園や小学校、中学校、高等学校などで発達に気になるお子さんの支援のサポートを行っています。電話での相談や学校に出向いて支援のアドバイスなどを行っています。

※3：自立活動は、障害による学習上または生活上の困難を改善・克服するために行う特別支援教育ならではの学習です。



福島県立たむら支援学校



【春山校舎】Tel...0247-82-4114 Fax...0247-82-4119
【石崎校舎】Tel...0247-82-4627 Fax...0247-82-4629
HP...<https://tamura-sh.fcs.ed.jp> mail...tamura-sh@fcs.ed.jp

